

第 40 回 連携会議記録	
日時	2013/2/22 15:00～
会場	花川北コミュニティーセンター
参加者数	17 / 25 + (北広島市より視察 8 名)
会議の記録	
<p>< 報告事項 ></p> <p>2 月 8 日実施の備品台帳様式検討について調査研修グループから経過報告あり (質疑なし)。</p> <p>研究グループ、調査研修グループの年間反省について、事務局調整の不手際により議案化していなかったため、急遽議案としてとりあつかうこととしました。</p> <p>< 協議題 1 > 各グループ反省について</p> <p>研究グループ反省について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局の負担過剰についてどのように考えていくか、参加者より質問があり、事務局から、「加配を受けているので、過剰とは考えていない。これまでの積み上げによって、今年各グループ反省のように、事務局がいちいち指示を出さなくても行動してくれる状況も出て来たので、来年は各グループのより一層の自主性に期待する」と回答した。 ・北広島の参加者から、連携会議と協議会の業務分担をどうしているのか質問あり。事務局から「双方のとりくみや文書をお互いの名前で発表してよいというルール(第 1 回連携会議議案に記述)を採用していることを説明。 <p>調査研修グループ反省について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者から、予算要望に関わって、大型備品 (印刷機・コピーなど) の一覧表を作成し、更新時期などを明らかにしながら要望することで、学校のニーズに何ら応えてもらえない現在の状況を変えられるのでは、との質問あり。北広島の参加者から、北広島の予算要望では大型備品の項目があることが紹介された。事務局から、「2009 年に一度コピー機・印刷機の全校調査を実施し、そのことがきっかけで一部学校のコピーカウンター料が 5 円から 3 円に減額されるなどの効果もあった。久しぶりにこの調査を実施し、複合コピー機と FAX 専用機がそれぞれ設置されているなどの無駄を改善していくことにも活用していくべきかもしれない」との見解があった。 <p>< 協議題 2 > 「保護者負担調査」の分析作業について (その 3)</p> <p>事務局提案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北広島の参加者より、石狩連携会議としての、保護者負担軽減のとりくみとしてはどのような成果があったか、との質問あり。事務局から「具体的な成果は、残念ながら生徒の名前ゴム印を小学校から中学校に申し送ることになったことぐらいである」「取り組みの過程で、教頭会の中でもこのことが話題になり、私たちの取り組みを後押しすることになった」などの回答あり。 ・北広島の参加者より、市教委との協議について質問があり、事務局から回答 (回答内容は、第 16 回連携会議議案を参照してください)。 	

<協議題3>「提言2012」について(その3)

事務局提案について

・北広島の状況を含め、広く意見交流が行われた。北広島では学校図書納入に関する石狩市のような課題は発生していないことが判明。3月5日の図書担当者会議にむけて、事務職員の参加呼びかけが議長からあった。また、担当者会議に向けて何らかの要請内容をまとめた文書の作成を検討することとした。提言の文言については、次回連携会議の提案(「2012年版石狩市の学校間連携」)において最終確認することとした。

・参加者から、システムの統一をすれば全校の条件が同じになると考えられるので、そのような提言を検討してはどうかとの質問あり。事務局から「結果はそのとおりだが、連携会議として必要と考えるのはシステムの統一でなく、あくまで全校が同じ条件で図書が納品されることにあるので、提言としてはシステムの統一は求めない方が良く考える」と回答。